

リフレッシュ滋賀

第9号

連合滋賀・高退協会報

発行責任者: 吉村眞明

編集責任者: 嶋澤順三

大津市松本2-10-6

電話: 077-523-0500

第六回総会開催

運動方針・新役員体制を決定

連合滋賀・高退協の第六回総会を、去る二月八日に守山市のつがやま荘において、加盟組織より代議員二三名、役員二三名、来賓一名、傍聴一名の計四七名の参加を得て開催しました。

開会にあたり、吉村眞明会長より、「今年は、ミレニアムと呼ばれ二〇〇〇年問題など騒いで年が明けました。今の社会は、世界一の長寿社会であります。素直に喜べない社会でもあります。国民への生活不安・景気低迷・雇用・リストラなど数多くの問題があり、高齢者福祉の問題が置き去りにされ、年金・医療など高齢施策の改善を進めようとしています。医療制度も抜本的改革がなされず、介護保険も選



挙目当てで、保険あつて介護なしの状況下であり、私たちは、連合の年金・医療など一〇〇〇万人署名や諸活動に組織挙げての協力を惜しみません。

また、今年は衆議院選挙の年であり、連合滋賀と共に、安心して暮らせる社会の実現に向けて、頑張ろう」と力強い挨拶がありました。そして、来賓として連合滋賀・下戸黨会長より、挨拶をいただきました。また、当日の出席をいただけた、西田八郎日本高退連会長、山元勉衆議院議員、川端達夫衆議院議員の三氏のメッセージが披露されました。

総会は、一九九九年の活動報告会計並びに会計監査報告、二〇〇〇年度の運動方針、予算、役員体制、顧問の委嘱等について議事を進め承認されました。

一九九九年の活動報告並びに二〇〇〇年度の運動方針については、二面に詳細を掲載しておりますので、ご覧下さい。

連合「一〇〇〇万人署名」 高退協も約七千人分集約

連合は、「安心の年金改革」「医療の負担増撤回」「雇用創出対策」の実施を求める国会請願署名を二月から三月初旬の間に取り組み、日本高退連も一〇〇〇万人署名の一割にあたる一〇〇万人の署名集約に取り組むことを一月に機関決定



し、滋賀高退協には、一万人の署名要請があり、高退協加盟一〇一組織と、連合滋賀の四〇構成組織や県下の九地域協議会が一緒に、県下一〇数拠点の駅頭で夕方に街頭署名活動を二月一五日

から二月二五日の間で実施し、延べ二五〇名の参加があり、高退協も加盟組織から約五〇名が参加しました。そして、二月二九日には全国から一、一五〇人が参加した「安心の年金実現！改悪法案強行採決を許さない！国会前緊急抗議行動」が行われ、「議員会館前での座り込み行動」「国会請願デモ行進」がありました。集会には、民主党・社民党の国会議員が多く駆けつける中、山元・川端両衆議院議員も激励に加わりました。また、国会請願デモ行進では、連合現役と共に、日本高退連職者連合も西田八郎会長を先頭に約三〇〇名のデモ隊を結成し、国会前から日比谷野外音楽堂まで行進を行いました。

この様々な取り組みを共に進めながら、二月初旬から三月初旬にかけて集約した署名数は約七〇〇〇人分になりました。



連合滋賀推せん候補に みなさんのご支援を！

第3選挙区

(草津市・守山市・栗太郡・野洲郡・甲賀郡)



おくむら 展三

無所属・新人

- ・1944年生まれ、立命館大学文学部中退
- ・1976年～ 甲西町議会議員
- ・1979年～ 滋賀県議会議員
- ・1995年～ 参議院議員当選（現在1期目）
- ・さきがけ幹事長

第2選挙区

(彦根市・長浜市・近江八幡市・八日市・伊香郡・蒲生郡・神崎郡・犬上郡・坂田郡・愛知郡・東浅井郡)



たけむら 正義

無所属・現職

- ・1934年生まれ、東京大学経済学部修了
- ・1962年～ 自治省入省
- ・1971年～ 八日市市長
- ・1974年～ 滋賀県知事
- ・1986年～ 衆議院議員当選（現在4期目）
- ・さきがけ代表

第1選挙区

(大津市・滋賀郡・高島郡)



川ばた 達夫

民主党公認・現職

- ・1945年生まれ、京都大学大学院修了
- ・1984年～ 東レ労働組合滋賀支部長
- ・1986年～ 衆議院議員当選（現在4期目）
- ・民主党国会対策委員長、民主党滋賀県総支部連合会代表代行、民主党滋賀県第1区総支部長

民主党・比例区近畿ブロック

(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)



山元 つとむ

民主党公認・現職

- ・1932年生まれ、滋賀大学文学部修了
- ・1976年～ 滋賀県教職員組合 執行委員長
- ・1990年～ 衆議院議員当選（現在3期目）
- ・民主党国会対策副委員長、民主党滋賀県総支部連合会代表、民主党衆議院近畿ブロック比例区第3総支部長

一九九九年 活動経過報告

(一九九九年一月一日～一九九九年三月三十一日)

【第五回総会】

日程…一九九九年二月十五日(月)

場所…勤労福祉会館 つがやま荘

参加者…計四十七名

内容…活動報告・九八年度経過報告・九七・九八年度会計・会計監査報告

【幹事会】

九九年度「運動方針」・九九年度予算について・顧問の委嘱について

【滋賀高退協】

一九九九年 二月、六月、八月、十一月に開催

【近畿ブロック】

一九九九年 一月、三月、六月、八月に開催

【99滋賀県高齢者集会】

日程…一九九九年九月二十二日(水)

場所…労働福祉会館 におの浜荘

出席者…高退協、現役組織より 100名

内容…テーマを「高齢者の生き生きとした生活を考える」とし、NEC

OBの津田直次氏より「川の水は流れても、川の底は流れない」と題して講演をいただいた。

【会報「リフレッシュ滋賀」の発行】

定期的な発行をめざし取り組み、以下の通り発行した。

①一月十五日 第六号

②八月二十五日 第七号

【日本高齢・退職者団体連合】

一、年金改悪反対個人署名活動 期間…一九九九年 一月、三月

一九九九年 三月

高退協と現役組織において二ヶ月間取り組んだ結果署名用紙一、二六三枚署名数 六、〇四六名もの署名を集約しました。この署名は、連合滋賀・高退協での集約であり、各OB会組織からの集約部分もあり、一部報告のあった数をあわせても一二、〇〇〇名以上に及ぶ結果でありました。

二、九九全国高齢者集会

日程…一九九九年九月十五日(水)

場所…東京体育館 出席者…二名

三、第五回定期総会

日程…一九九九年一〇月十二日(火)

場所…東京 総評会館

出席者…二名

【近畿ブロック高齢・退職者連絡会】

一、第六回定期総会と国際高齢者年近畿集会シンポジウムの開催

日程…一九九九年八月二十七日(金)

場所…大阪府立労働センター 大会議室

出席者…滋賀から十五名(全体…二百名規模)

二、連合の森散策と箕面ハイキング

日程…一九九九年十一月十八日(木)

場所…箕面公園・勝尾寺から連合の森

参加者…滋賀から四名

二〇〇〇年度運動方針について

二〇二五年には四人に一人以上が六

五歳以上の高齢者という本格的な高齢化社会が到来するものと予測されています。高齢化社会到来の中で、年金・医療さらには公的介護制度などは、次世代に引き継ぐべき重要な課題であり「高齢者の命と暮らしを守る」課題でもあります。四月からの介護保険制度

など、高齢者の負担は厳しさを増し、生活に大きな影響を与えかねない状況にあります。このような状況だからこそ、私たちはさらに「連合」および「連合滋賀」と密接に連携して、これまで積み重ねてきた経験と成果を運動に生かして、ひとりひとりが夢と希望を持ち、生きがいのある生活が送れるよう、着実な前進をはかります。そのためにも、多くの高齢者パワーを結集し、高齢・退職者組織としての存在を示していくこととします。

③組織づくりの強化 幹事会は三ヶ月に一回定例的に開催し、その中で加盟組織の強化・拡大や、未加盟組織の加盟促進に向けた取り組みの検討を行ない、現役組織の協力を得ながら高退協の組織拡大を目指します。また、会員への情報の周知と参加を目的に、会報を一年間に三・四回発行します。

④連合との提携 連合滋賀、各地協が取り組む活動に対し、積極的に参加し、現役組織・組合員との交流をはかります。

②充実した暮らしを求める運動 加盟組織や会員相互の交流・親睦をはかるとともに、地域への拡がりをはかるために、高齢者集会やレク行事などを開催します。

①安心して暮らせる高齢者・退職者の政策を推進する活動 高齢化社会に向けた様々な制度の充実に向けて、現役組織と共に積極的に行動し、四月よりスタートする介護保険制度では、「保険あって介護なし」という事態が起らないように意見反映に努めます。

【当面する活動】

①安心して暮らせる高齢者・退職者の政策を推進する活動

高齢化社会に向けた様々な制度の充実に向けて、現役組織と共に積極的に行動し、四月よりスタートする介護保険制度では、「保険あって介護なし」という事態が起らないように意見反映に努めます。

連合滋賀高退協・役員名簿

役職名	氏名	名
会長	吉村 賢明	(ゼンセン同盟滋賀県支部 顧問)
副会長	嶋澤 順三	(新日本電気「乙西会」・電機連合滋賀OB会 会長)
	奥村 慶雄	(関労滋賀地区OB会 顧問)
	北村 芳郎	(NTT労組退職者の会滋賀県支部協議会 会長)
	前坂 雅春	(連合滋賀 事務局長)
事務局次長	伊藤 三郎	(新日本電気「乙西会」 事務局長)
事務局次長	池内 正博	(連合滋賀 副事務局長)
幹事	吉田 剛	(ゼンセンOB友の会滋賀県支部 副支部長)
幹事	梶田 秀治	(ゼンセン同盟滋賀県支部 次長)
幹事	野々山 廣夫	(NTT労組退職者の会滋賀県支部協議会 事務局長)
幹事	山岡 正人	(NTT労組滋賀県支部 副委員長)
幹事	北川 治太郎	(鉄道退職者の会滋賀県協議会 会長)
幹事	小川 寛	(JR連合滋賀県協議会 議長)
幹事	山崎 正雄	(関西日本電気労組 委員長)
幹事	多賀 八郎	(全通信退職者組合滋賀支部 事務局長)
幹事	田中 清道	(全通信近畿地方本部 副委員長)
幹事	猪飼 清一	(滋賀退職教職員協議会 会長)
幹事	清水 崇夫	(滋賀県教職員組合 委員長)
幹事	森本 新一	(農林水産省滋賀県退職者の会 会長)
幹事	福田 龍己	(全農林近畿滋賀県協議会 事務局長)
幹事	小山 三雄	(全印刷局労組退職者の会彦根支部 会長)
幹事	小山 弘	(全印刷局労組彦根支部 副委員長)
幹事	岡田 紀生	(ダイハツOBの会滋賀支部 副支部長)
幹事	中山 康英	(ダイハツ労組電王支部 支部長)
幹事	石嶋 次郎	(自治労滋賀県本部自治体退職者会 事務局長)
幹事	坂谷 達也	(自治労滋賀県本部 委員長)
幹事	五十嵐 泰雄	(関労滋賀地区OB会 会長)
幹事	北川 美津雄	(関電労組滋賀地区本部 委員長)
会計監査	亀川 正春	(滋賀退職教職員協議会)
会計監査	松島 烈	(ダイハツOBの会滋賀支部)

事務局長就任のご挨拶にかえて

伊藤 三郎

先般高退協総会で事務局長に選任されました伊藤でございます。知識、実力ともに不十分ですが、精一杯務めさせていただきます。ご支援、ご協力のおかげでよろしくお願い致します。



さて、堅苦しいご挨拶は苦手で、自分の身の回りのご紹介をさせて頂き、私の人物なり考えなりをご理解頂けたら幸いです。どうか拾い読みで結構ですからお付き合い下さい。

ねこは愉快的動物

何年か前に「公園通りの猫たち」と言う本を読んだことがある。NHKFMの日曜喫茶で著者が出演していて知ったのであるが、猫好きの人にはおもしろい本である。要約すると、東京のまん中渋谷の通称公園通りに出没する猫たちの生態をおもしろおかしく写真入りで描写したもので、猫とは斯くも愉快的動物であり、また野良猫たちの斯くも哀れな、悲しい物語もあったのかとしんみりした場面もある。猫好きの方には一読をお薦めします。

【早坂暁 公園通りの猫たち講談社文庫】

我が家の裏隣のお家には猫が十数匹いる。飼っていると書かなかったのは迷い込んだ猫、捨てられた猫をかわいそうだからとそのまま世話をしておられる。ちゃんとご飯もつくってやってるし、近所

の迷惑にならないように避妊手術もしているそうだ。その猫のうちの何匹かは時々我が家へ入り込んで、うちの猫のエサを食べている。我が家の猫は平気でそれを眺めている。他に同様に捨てられた犬を四〇五匹世話をしておられる。単に猫好き、犬好きと言う以上に生き物に対しての温かみを感じる。きっと好い人に違いないと思います。

実は我が家で八年ほど前まで飼っていた猫もその家から流れてきて我が家に住み着いた猫で、名前は「シロ」という名であった。十五年いて天寿を全うした、真つ黒の野良猫でした。

動物を飼うことは人の心を和ませ、ものの命を大切に作る気持を育むと思っています。我が家の子供は猫や小鳥、昆虫、熱帯魚などを可愛がりながら育ってきました。心やさしい子供になり、また大人になってほしいという気持ちがあったからです。八年程前「シロ」が死んだときのことである。外出から帰ってきた娘が炬燵に足を入れたら何かに当たった。シロが炬燵の中で死んで硬くなっていたのでした。娘はシロを抱き上げ、頬擦りしながら涙ぐんだ。その猫は皮膚病があり、顔中できものだらけ、決してきれいな猫ではなかった。今居る猫と同様家中を荒し回る。でも家族みんな可愛がった。

我が家の猫たち

今はアメリカンショートヘア系の八歳になる兄弟猫がいる。茶色のオスの龍之介とネズミ色メスのニーニヤである。貰ってきた当初の幼いころ、あまりに汚れているので、子供たちが洗ってやったのがきっかけで、かぜを引かせて二匹と



も死にそうになった。娘が一生懸命介抱し、犬猫病院に連れて行ってやっと元気になった。そのためか、甘やかして育てられて我が儘に育っ

て閉口している。

我が儘ぶりを一部ご紹介しましょう。まずオスの龍之介は固形のキャットフードしか食べない。メスのニーニヤは猫缶ばかり。平気で机やテーブルの上上がる。怒るとすぐ降りるが五分も経たないうちにまた上がる。お客さまが来られると平気でその方の膝の上に乗る。やたらと廊下の壁をカリカリやって破つてしまう。畳に爪をたてて傷を付けるなど数えればきりが無い。また龍之介は甘えたで誰にでも寄り寄ってくる。冬場は寝間にきて一緒に寝ることもあるが、龍之介は何時も私の腕枕で寝ている。それも右腕ばかりである。腕を引っ込めると爪で引っ掻いて腕を出すよう催促する。すっかりクセになってしまった。暖かくなるまでは仕方がないと諦めている。

我が家には別のペット？がいる。熱帯魚だ。デイスカス、ドイツラミレージ、エンゼルフィッシュ各種、その他水槽を沢山並べて飼育している。熱帯魚のえさやりに行くとニーニヤが必ずといって良いほどついてくる。脚立の上に乗って良ニヤニヤとうるさいこと。どうやら熱帯魚のエサの後に自分のエサをもらえろクセがついたらしい。ニーニヤはまた人に抱かれるのが好き？で、抱いてやるとおとなしくなる。近所のこどもたちが

つれにきて、素直に抱かれ連れて行かれても平気。昨年の夏休みは連日子供たちが「ニーニヤちゃんあそぼー」と連れにくるので猫もうんざりしていた。

自然や動物たちを大切に

最近足をチョン切られた三匹の犬が捨てられていたニュースがあった。非常にかなしいことだ。自然を破壊し、自然の中に潜む動物、小鳥、虫などをいじめ、今度は身の廻りにいる動物をいじめめる。今回はほんのその一例であるが、大げさに言えば開発の名のもとに自然を破壊し、動物や昆虫、小鳥、魚たちを棲めなくし、あるいは自然の木々を伐採すること、人間の奢りである。人間もまたこれらの生き物の仲間の一つである。これらの無節操な行いが、やがて自分達の身の回りにしつぺ返しとして降り掛かってくることに早目に気が付き、遅まきながら真剣に考え、目線を合わせた付き合いが出来よう、謙虚に付き合っていく必要があるのではないだろうか。

中池見LNG基地建設延期

リフレッシュ滋賀第七号で「敦賀の中池見湿地を守れ」という主旨の特集記事を掲載しましたが、大阪ガスは昨年九月二十九日敦賀におけるLNG基地の操業開始を十年延期する旨の発表を行いました。

当初計画では二〇一〇年の操業開始予定でしたが、需要計画見直しにより、更に十年延期ということになり、現在大阪ガスが進めている環境保全エリア造形個所の移植・移入の取り組みが実証できることになりました。そういったことから、今後の中池見の自然環境の保全を暖かく見守っていきたいと思います。

組織紹介

全印刷退職者の会彦根支部

全印刷退職者の会彦根支部は日本銀行券をはじめ郵券・諸証券、そして図書部門等の貴重・機密製品を一体として運営している印刷局事業に務めておられた退職者による組織、八支部の中の印刷局彦根工場近辺等に在住されている方々により構成されている支部であり、現在会員数は二五〇名です。

近年、年齢構成の変化により退職者数が少ないことや高齢化等により、年々総会員数も少なくなりつつあります。

しかしながら、現役組織における雇用・身分・労働条件に関わる行革課題に対する取り組みや年金・介護等の心豊かに安心して暮らすことのできる社会を目指す運動について、現役組織と退職者の会組織による「現退一致」との体制で運動を進めています。

連合滋賀・高退協の皆様、今後も各種課題運動について共に頑張りましょう。皆さん、引き続きよろしくお願い致します。

〔諸活動内容〕

○月一回の「定例幹事会」の開催
・幹事会メンバー 会長 一名 事務局長 一名 幹事 七名 現役組織担当者 一名

○全印刷退職者の会中央での「全支部代表者会議」又は代議員による「定期総会」を隔年ごとに開催される。

○機関紙「全印刷」の毎月3回の会員への郵送により現役組織および退職者の

会会員同士の繋がりを深める。

○全印刷退職者の会彦根支部定期総会（年一回、十月頃開催）

○全印刷退職者の会彦根支部親睦旅行（年一回、十一月頃開催）

○全印刷退職者の会及び連合滋賀高退協等からの各種運動。

（全印刷退職者の会彦根支部
担当：全印刷彦根支部 山脇 弘）



①1999年10月29日
全印刷退職者の会彦根支部
第28回定期総会・親睦会

②1999年11月9日
全印刷退職者の会彦根支部
親睦旅行「京都府・非公開文化財巡り」



投稿歓迎！

会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。原稿は左記までご送付ください。

〒520-0807

大津市松本2丁目10-16

連合福祉会館内

連合滋賀・高退協事務局

高退協力カレンダー

二〇〇〇年

二月八日

滋賀高退協第六回総会

本紙記事を参照下さい

二月十五日～二月二十五日

連合「年金・医療・雇用」署名参加

連合の十万人署名運動の一貫として、街頭署名運動への参加と各会員の知人・友人等への署名運動への参加。

署名の主旨は「安心の年金改革」「医療の患者負担増撤回」「雇用創出対策」の三点で、署名運動とチラシ配布。署名結果は三月はじめに集計され、衆参両議長あてに提出されました。

編集後記

高退協の年一回の総会に焦点を合わせました。本格的な高齢化社会の到来と、不安定な政治、経済情勢のなかでわれわれ高齢者の生活と権利を守るため、高齢者のパワーを結集し、立ち上がって行動に移す時期に来ていると思います。

当面の問題として医療であり、年金であり、また介護保険の問題であります。次世代にわれわれが何を残せるかを考えた場合、長期的に見て豊かな生活を約束する環境保護、改善であり昔ながらの自然を取り戻す行動が大切ではないでしょうか。皆さんの積極的な発言、行動を期待しております。

高齢者に対する使用料の割引がある県立施設の一覧

*印は県内居住者

無印は居住地の記載無し

一、六五歳以上が無料となる施設

* 醒ヶ井養鱒場・・・入場料

* 琵琶湖文化館・・・入館料

* 安土城考古博物館・・・入館料

* 近代美術館・・・観覧料(常設展示)

* 陶芸の森(陶芸館)・・・観覧料

(常設展示)

* 琵琶湖博物館・・・観覧料(常設展示)

二、六五歳以上が半額となる施設

びわ湖こどもの国・・・使用料

(宿泊施設利用料)

大宿泊室、小宿泊室

近江富士花緑公園・・・

宿泊休憩施設使用料(ふるさと館利用料)、ふるさと館宿泊料(研修・会議利用料を除く)、ふるさと館休憩料(研修・会議利用料を除く)

* 都市公園特定公園・・・施設使用料

(奥びわこスポーツの森施設使用料)

水泳プール使用料

長浜ドーム・・・使用料

(宿泊研修館使用料)

宿泊室使用料(宿泊料)

* 彦根総合運動場・・・使用料

(スライミングセンター個人使用の使用料)屋外プール、屋内プール

* 障害者福祉センター・・・使用料

(プールの個人使用の使用料)

平水、温水

* 水環境科学館・・・使用料

(浴室使用料)